

# 大統領選挙のポイントと投資戦略

- 大統領選挙特別レポート -

2020年10月27日

YEN 蔵 / 田代 岳



本レポートは情報提供を目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。  
マネーパートナーズは、本レポート記載の情報の正確性、確実性等を保証するものではなく、本レポートに基づいて被ったいかなる損失・損害についても一切の責任を負いません。  
投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断にて行っていただきますよう、お願いいたします。  
本レポートの無断の複製、転載、販売等を禁止します。

# 大統領選挙のポイントと投資戦略

大統領選挙がいよいよ来週に迫ってきました。そこで大統領選に向けてのポイントや投資戦略を書いてみたいと思います。

まず今回の大統領選でポイントになるところは

- 1、 大統領はトランプ氏になるのかバイデン氏になるのか
- 2、 大統領がすぐに決まらなくて長期戦になる可能性は高いのか
- 3、 議会選挙で上院、下院をどちらがとるか
- 4、 それぞれの大統領と議会の組み合わせで相場にどのような影響が出るのか

以上の観点が今回の大統領選挙の注目ポイントになると思われ、レポートはこれについて順を追って説明していきます。

## ■大統領はトランプ氏になるのかバイデン氏になるのか

まずどちらが大統領になるのかですが、大統領選挙の状況をタイムリーに観測できるサイトを紹介したいと思います。

1 つ目は Real Clear Politics <https://www.realclearpolitics.com/>

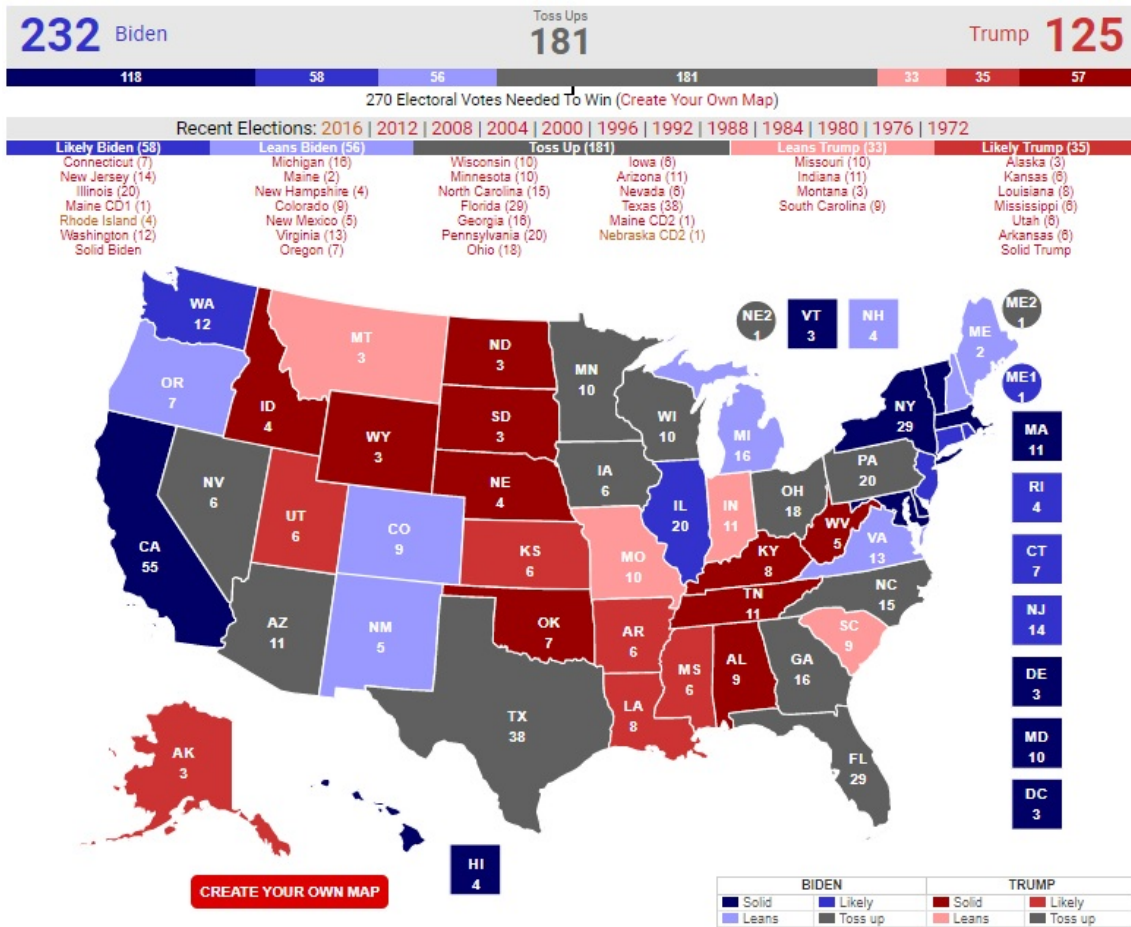
2 つ目は Five Thirty Eight <https://fivethirtyeight.com/>

私も大統領選挙の情報の多くはここから収集していますので、その情報を中心に説明します。

Real Clear Politics によると現在の世論調査の平均値はバイデン氏 50.8%、トランプ氏 42.9%  
とここのところ差はほとんど変わっていません。

Betting Odds というものがあり、これはどちらの候補が勝つのかを賭けるサイトです。これを見ると 6 月までトランプ氏がリードしていましたが、7 月の以降バイデン候補の勝利予測が高まり、9 月に拮抗しましたが第 1 回の大統領候補討論会以降はバイデン候補のリードが広がり 65 対 35 でバイデン候補のリードが広がっています。

米国の大統領選挙は 538 人の選挙人を獲得する選挙です、各州の選挙民の投票は各州に振り分けられている選挙人を獲得するための投票です。基本的には各州で処理した候補がその州の選挙人を総取りしますので、選挙人が多い州での勝利が勝利への近道です。



[https://www.realclearpolitics.com/epolls/2020/president/2020\\_elections\\_electoral\\_college\\_map.html](https://www.realclearpolitics.com/epolls/2020/president/2020_elections_electoral_college_map.html)

マップは Real clear Politics のものです。選挙人の数と現在の状況です。青が濃いほど民主党の勝利の可能性が高く、赤が濃いほど共和党の勝利が高い州です。グレーは激戦州です。

選挙人が多い州はカリフォルニア 55 人、テキサス 38 人、ニューヨーク 29 人、フロリダ 29 人です。次に多い州がペンシルベニア 20 人、イリノイ 20 人、オハイオ 18 人、ジョージア 16 人、ミシガン 16 人、ノースカロライナ 15 人、ヴァージニア 13 人、ワシントン 12 人とこのあたりが選挙人が多い州です。

これらの中で青い州は民主党がすでにリードしている州で、もともと民主党の地盤が強い州で

す。世論調査の通りすすめばバイデン氏勝利の確率が強いのですが、トランプ氏勝利の可能性はまだ残ります。そのためには、スイング・ステート（激戦州）でトランプ氏が勝利する必要があります。テキサスと、フロリダで勝利することが絶対的な条件です。こちらを落とすと勝利の可能性はなくなります。その上で激戦州の中でペンシルベニア、オハイオ、ジョージア、ミシガン、ノースカロライナなどの州でも勝利を得ることができれば当選の可能性もあります。

### ■大統領がすぐに決まらなくて長期戦になる可能性は高いのか

今回の選挙ではコロナウィルス感染の影響を受けて郵便投票が増加しているようです。通常でも郵便投票の比率はそれなりにあるのですが、今回はかつてないほどの郵便投票が増加するといわれています。

各州などによって郵便投票の締め切りは違いますが、一番遅いところで4日の消印です。そうすると開票が終了するのが翌週にもつれ込む可能性もあります。

トランプ大統領は郵便投票は不正投票の温床になると、郵便投票に対して否定的な発言を繰り返しています。このため投票結果でトランプ候補が僅差で負けた場合に、彼が法廷闘争に持ち込む可能性があります。その場合は大統領が1か月以上決まらないケースもあり、私はこのケースが一番市場が大きく動く可能性があるのではないと思っています。

12月14日に各州の選挙人が選挙結果に基づいて各候補に投票します。この時点でどちらも過半数の選挙人（270人）を獲得していなければ、下院が州で1票ずつ、投票で大統領を決めます。実は26州で共和党が勝利しており（下院全体では民主党が過半数）、ここで決まるとなるとトランプ大統領が勝利します。それでも決まらなければ上院が投票して大統領を決めます。

それでも決まらなければ下院議長が大統領代行になります。

ちなみに 2000 年のブッシュ対ゴアの大統領選挙では 36 日間、大統領が決まらず SP500 は 12% ほど下落しました。このケースが最も株価が下落しリスクオフになる可能性が高いでしょう。

---

## 執筆者情報

YEN 蔵 / 田代 岳 (@YENZOU)

投資情報配信を主業務とする株式会社 ADVANCE 代表取締役。

米系のシティバンク、英系のスタンダード・チャータード銀行と外資系銀行にて、20 年以上、外国為替ディーラーとして活躍。

為替を中心に株式、債券、商品、暗号資産と幅広くマーケットをカバーして、分かりやすい解説を行っている。

## リスク等の広告記載事項

パートナーズ FX、パートナーズ FXnano および CFD-Metals は、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とは差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズ FX およびパートナーズ FXnano の受渡取引に限り、1 通貨単位あたり 0.10 円の手数料をいただきます。

パートナーズ FX およびパートナーズ FXnano の取引に必要な証拠金は、取引の額の 4%以上の額で、証拠金の約 25 倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、為替リスクを想定し通貨ペアごとに当社が定める額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちいずれか大きい額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第 117 条第 27 項第 1 号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。

CFD-Metals の取引に必要な証拠金は、取引の額の 5%以上の額で、証拠金の約 20 倍までの取引が可能です。国内市場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の 2.75%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で 2,750 円(消費税込み)をいただきます。国内市場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

## お問い合わせ先

株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

金融商品取引業の登録番号: 関東財務局長(金商)第 2028 号

加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

〒106-6233 東京都港区六本木 3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー33 階

各種お問い合わせはこちら: <https://www.moneypartners.co.jp/support/info/>